



2026年7月18日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
11,776万kW
11時30分、117,756 MW
(10エリア同時刻合計)

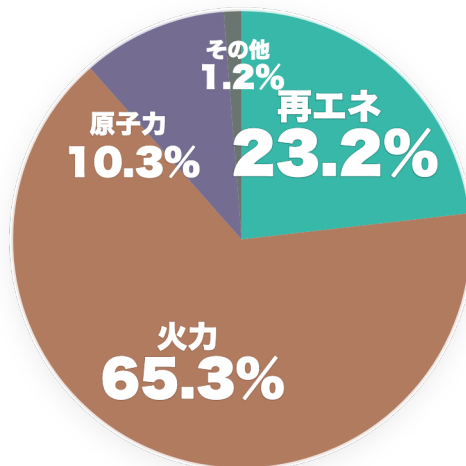
≈ 風力ピーク
159万kW
22時30分、1,591 MW

↔ 最大受電エリア
東京
93.5 GWh

☀ 太陽光ピーク
3,416万kW
11時30分、34,161 MW
(自家消費分除く)

◇ 再エネ最大需要比
39.0%
12時30分、需要に対する割合

↔ 最大送電エリア
東北
76.7 GWh



概況

再エネ比率トップ
北海道 44.1%
36.4 GWh

出力抑制量
0.0 GWh
最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電
32.1 GWh
発電構成比には含めない

日中の特徴
太陽光と夕方需要の時間差
多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、11:30に3,725万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで44.1%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	23.2%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	578 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,494 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	39.0%	12時30分
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	32.1 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	44.1%	36.4	0.0	送電 8.3
東北	28.6%	80.4	0.0	送電 76.7
東京	14.1%	95.7	0.0	受電 93.5
中部	31.0%	97.1	0.0	受電 56.2
北陸	33.9%	28.7	0.0	送電 7.8
関西	16.9%	71.1	0.0	受電 33.2
中国	30.1%	51.5	0.0	受電 4.6
四国	23.5%	29.6	0.0	送電 46.5
九州	27.7%	84.4	0.0	送電 28.9
沖縄	11.4%	3.5	0.0	—



2026年7月18日の供給実績

北海道エリア

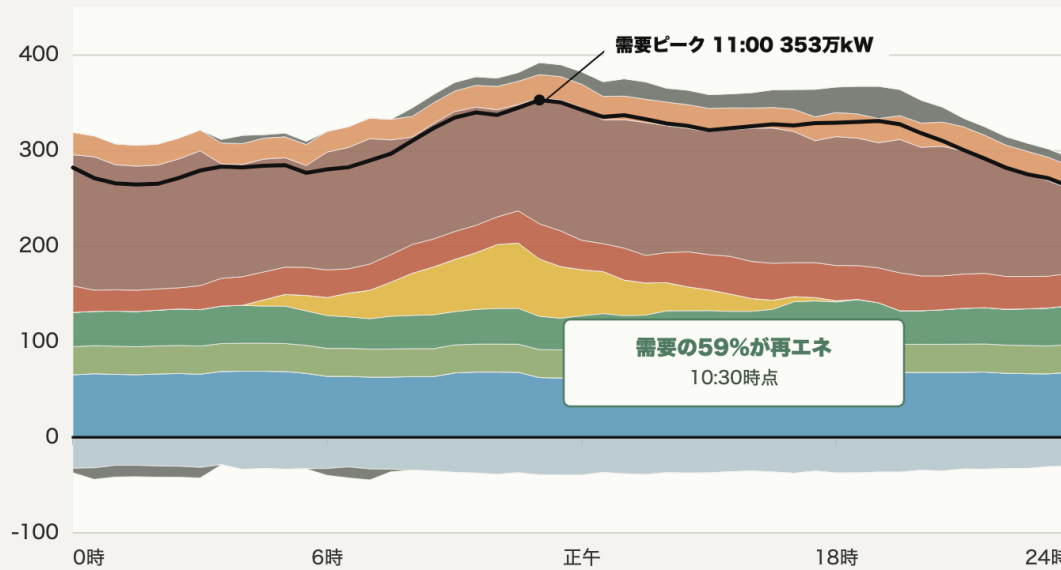
再エネ

36.4GWh

(発電電力量ベース44.1%)

北海道エリア 2026年7月18日の供給実績（残余需要方式）

万kW



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

82.5GWh

需要ピーク

11:00、353万kW

連系線・その他

8.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク68万kW、風力ピーク47万kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.8%だった。



2026年7月18日の供給実績

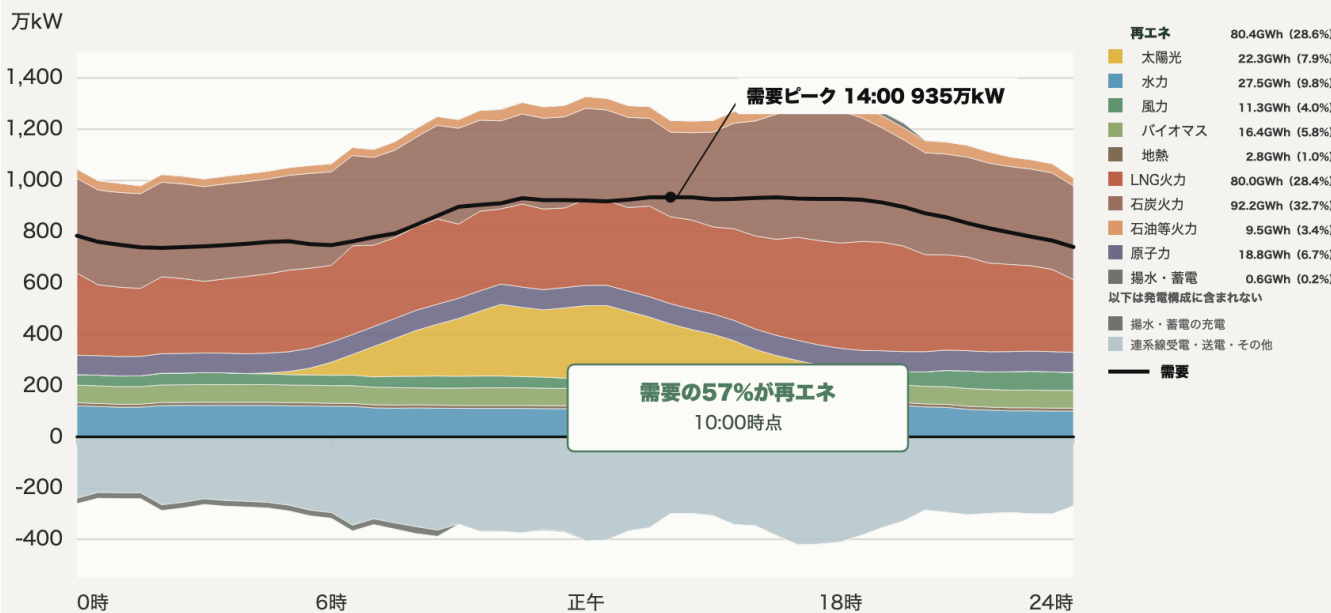
東北エリア

再エネ

80.4GWh

(発電電力量ベース28.6%)

東北エリア 2026年7月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

281.5GWh

需要ピーク

14:00、935万kW

連系線・その他

76.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

2.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク286万kW、風力ピーク73万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.7%だった。



2026年7月18日の供給実績

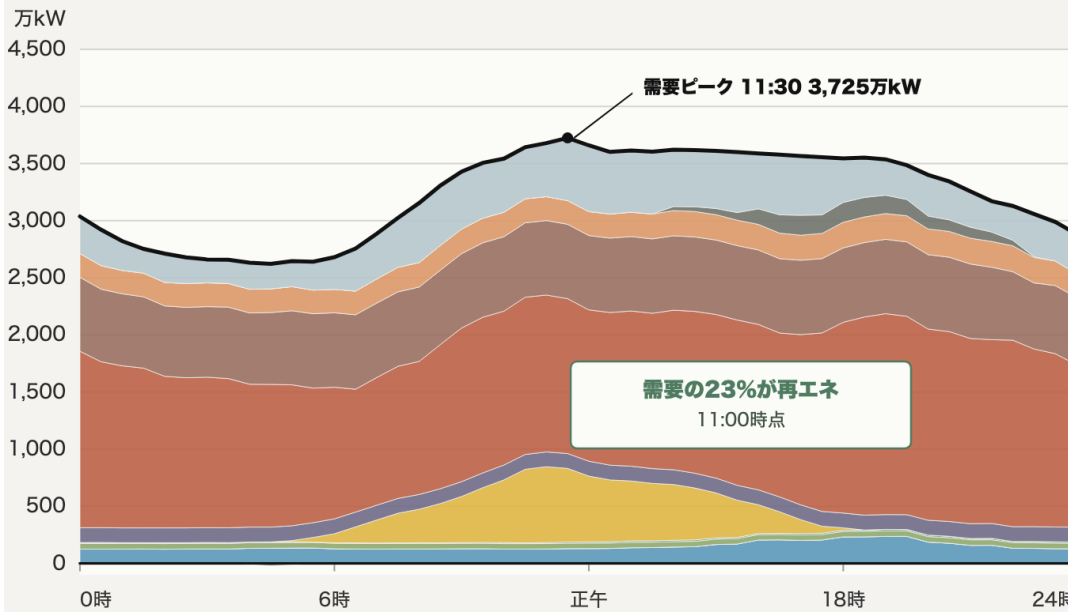
東京エリア

再エネ

95.7GWh

(発電電力量ベース14.1%)

東京エリア 2026年7月18日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 680GWh
(6,803万kWh)

再エネ	95.7GWh (14.1%)
太陽光	46.0GWh (6.8%)
水力	35.9GWh (5.3%)
風力	2.3GWh (0.3%)
バイオマス	11.5GWh (1.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	338.4GWh (49.7%)
石炭火力	153.7GWh (22.6%)
石油等火力	51.7GWh (7.6%)
原子力	31.1GWh (4.6%)
揚水・蓄電	9.6GWh (1.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

680.3GWh

需要ピーク

11:30、3,725万kW

連系線・その他

93.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電

0.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク664万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.0%だった。



2026年7月18日の供給実績

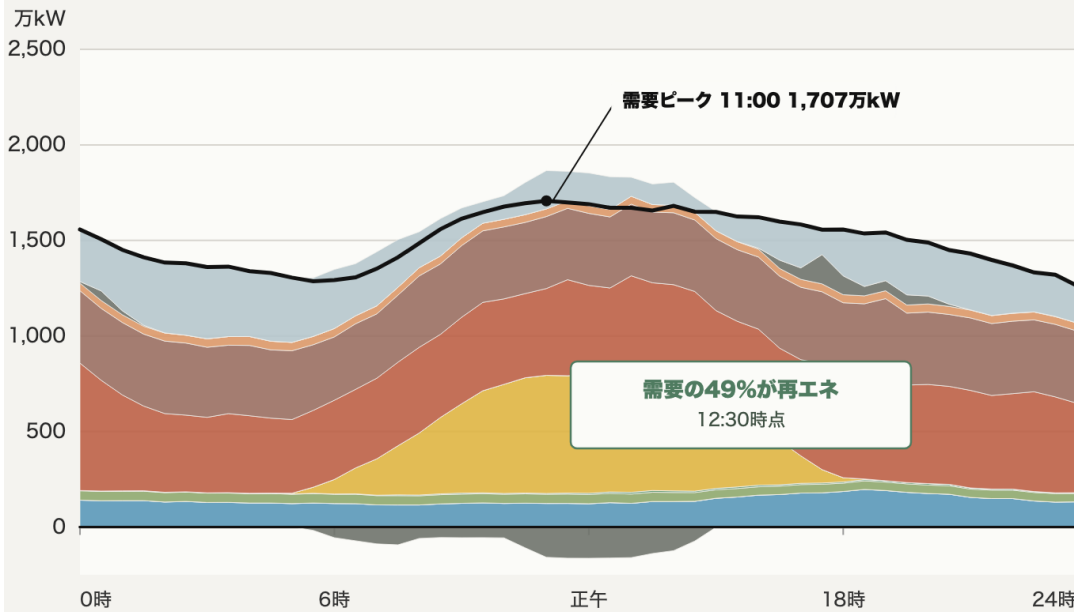
中部エリア

再エネ

97.0GWh

(発電電力量ベース31.0%)

中部エリア 2026年7月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

312.9GWh

需要ピーク

11:00、1,707万kW

連系線・その他

56.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電

9.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク638万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は49.4%だった。



2026年7月18日の供給実績

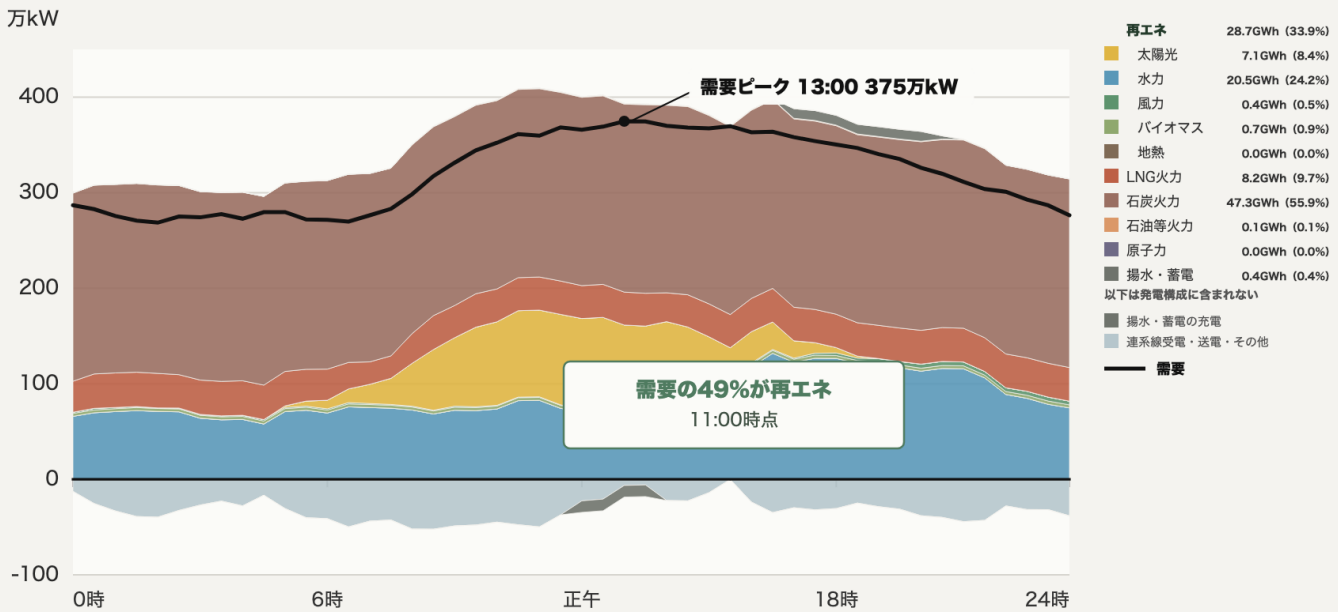
北陸エリア

再エネ

28.7GWh

(発電電力量ベース33.9%)

北陸エリア 2026年7月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

84.7GWh

需要ピーク

13:00、375万kW

連系線・その他

7.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク96万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は49.2%だった。



2026年7月18日の供給実績

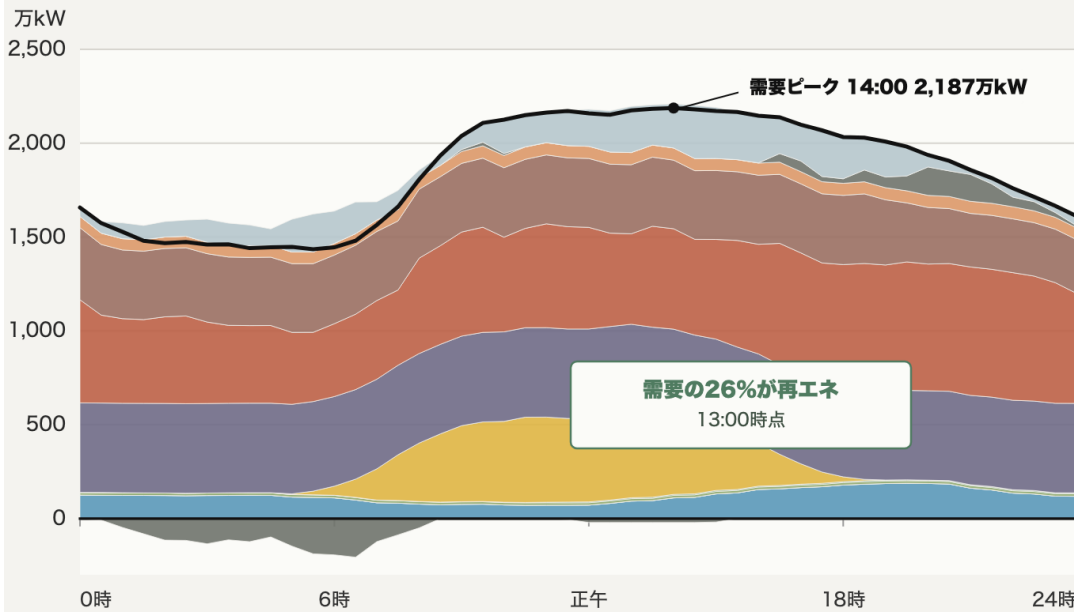
関西エリア

再エネ

71.1GWh

(発電電力量ベース16.9%)

関西エリア 2026年7月18日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 420GWh
(4,200万kWh)

再エネ	71.1GWh (16.9%)
太陽光	38.1GWh (9.1%)
水力	29.1GWh (6.9%)
風力	0.8GWh (0.2%)
バイオマス	3.1GWh (0.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	129.3GWh (30.8%)
石炭火力	84.7GWh (20.2%)
石油等火力	15.2GWh (3.6%)
原子力	114.4GWh (27.2%)
揚水・蓄電	5.3GWh (1.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

420.0GWh

需要ピーク

14:00、2,187万kW

連系線・その他

33.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電

9.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク454万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は25.7%だった。



2026年7月18日の供給実績

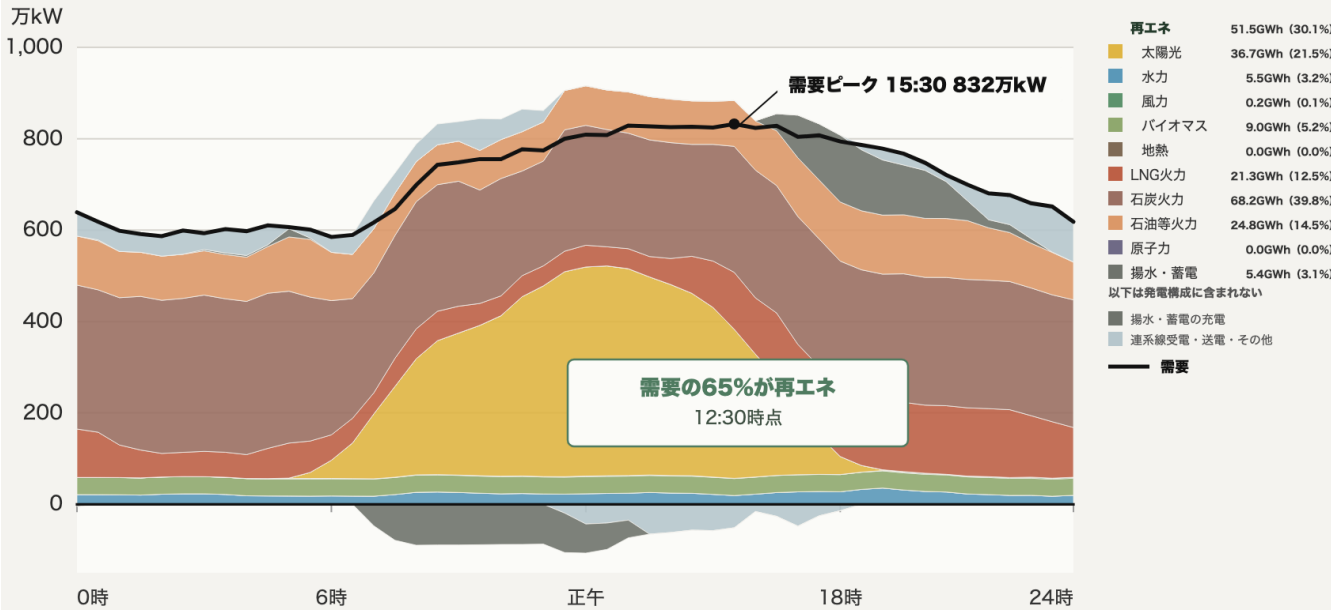
中国エリア

再エネ

51.5GWh

(発電電力量ベース30.1%)

中国エリア 2026年7月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

171.1GWh

需要ピーク

15:30、832万kW

連系線・その他

7.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電

5.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク459万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は64.6%だった。



2026年7月18日の供給実績

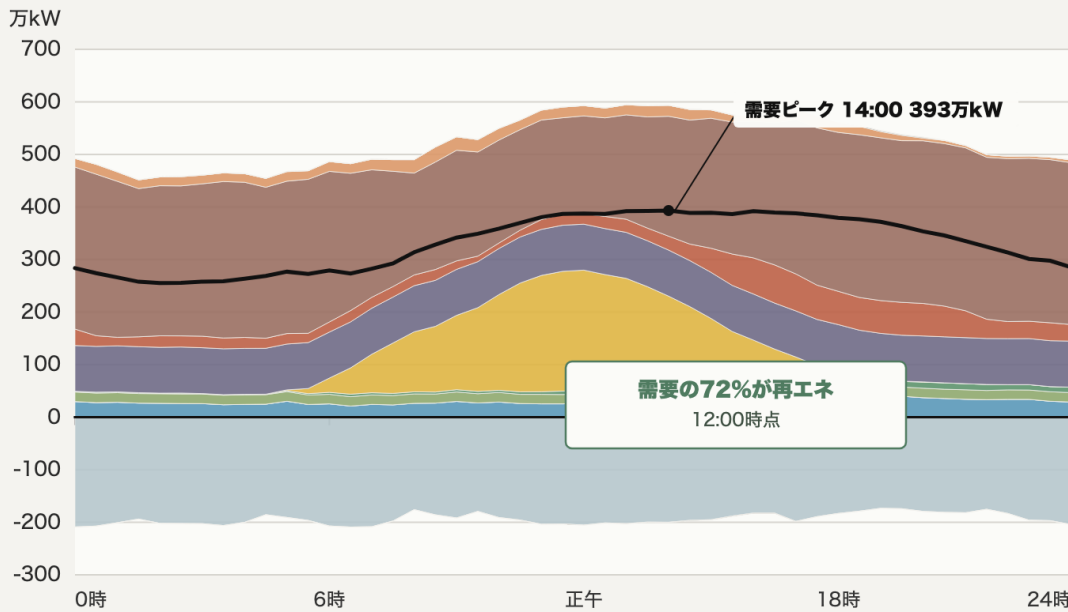
四国エリア

再エネ

29.6GWh

(発電電力量ベース23.5%)

四国エリア 2026年7月18日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 126GWh
(1,258万kW)

再エネ	29.6GWh (23.5%)
太陽光	16.9GWh (13.4%)
水力	7.0GWh (5.6%)
風力	1.4GWh (1.1%)
バイオマス	4.3GWh (3.4%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	7.9GWh (6.3%)
石炭火力	63.4GWh (50.4%)
石油等火力	3.9GWh (3.1%)
原子力	21.0GWh (16.7%)
揚水・蓄電	0.0GWh (0.0%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

125.8GWh

需要ピーク

14:00、393万kW

連系線・その他

46.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク229万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は72.2%だった。



2026年7月18日の供給実績

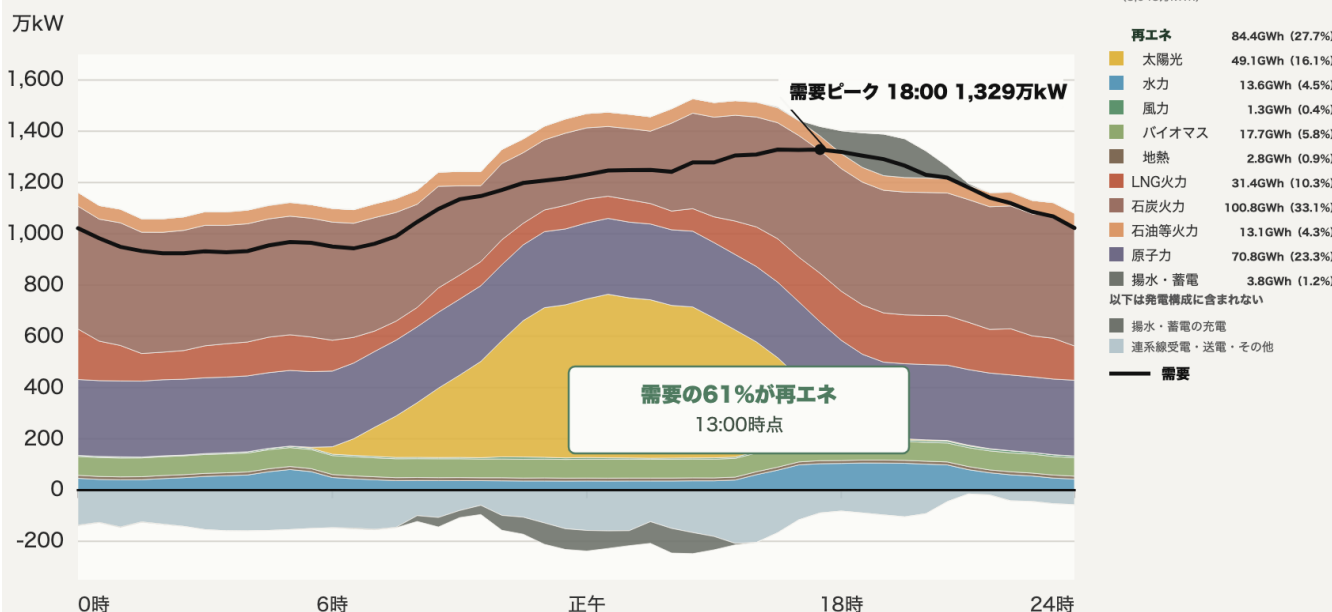
九州エリア

再エネ

84.4GWh

(発電電力量ベース27.7%)

九州エリア 2026年7月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

304.3GWh

需要ピーク

18:00、1,329万kW

連系線・その他

28.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

4.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク638万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.3%だった。



2026年7月18日の供給実績

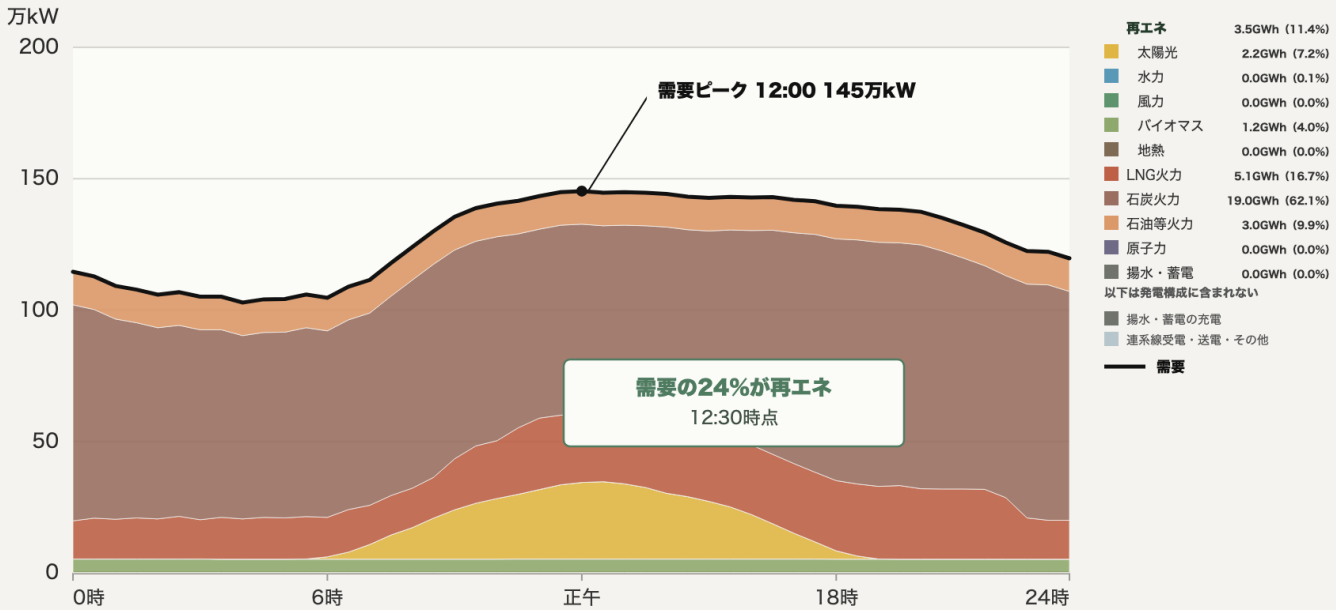
沖縄エリア

再エネ

3.5GWh

(発電電力量ベース11.4%)

沖縄エリア 2026年7月18日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

30.6GWh

需要ピーク

12:00、145万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク29万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.0%だった。